

## 研究結果報告書

中国語母語話者における日本語音声習得の実証的研究：知覚と生成の相関性を中心に

所属：復旦大学 外国言語文学学院 日本語言文学学部

役職：准教授

氏名：劉 佳琦(他1名)

### 1. 研究の目的

私は長年にわたり、日本と中国で日本語教育に携わってきた。先行研究の成果を踏まえて、日本語学習者を対象とした音声習得研究に関して、改善の余地があるように思う。そこで、本研究では中国南方・北方出身の日本語学習者を対象に、日本語音声の知覚と生成の縦断的習得研究を行う。その目的は、(1)中国語母語話者による日本語音声の習得状況及び習得の影響要因を明らかにする、(2)認知科学の実験手法を用いて、知覚と生成の相互作用と認知過程の発達プロセスを究明する、(3)習得研究の成果を踏まえて、中国語母語話者対象の日本語音声教育に提言したい。

### 2. 研究のための活動内容

研究のため、以下の活動を行った。まず、中国人民大学（北京）、復旦大学（上海）、厦門大学（福建）にて、日本語発音の習得調査を行なった。また、早稲田大学の戸田貴子教授と木下直子准教授を訪問した。その目的は、(1)音声データの収集、(2)発音評価の依頼である。そのほか、2017年度日本音声学会全国大会などの国際シンポジウムに出席し、研究発表を行い、音声学や日本語教育学の専門家と意見交換した。

### 3. 研究を通じて発見・解明されたこと

本研究では、中国語母語話者を対象とした日本語音声の習得研究を行った。学習者の母方言の正負転移や言語の普遍的特徴といった要因を考慮に入れ、また認知科学の視点から知覚と生成の相関性を究明し、多角的な視点から日本語音声習得の実態を明らかにした。本研究から得られる知見が、第二言語の音声習得研究に重要な貢献をするものと思われる。さらに、日本語の音声指導の質を高め、学習効率を促進するものと思われる。

### 4. 研究を通じて見えた課題や将来に対するアドバイス

本研究の成果を踏まえて、実際の教育場面における適切な発音評価の可能性、母語・母方言別に音声指導を行う必要性、知覚と生成の認知プロセスと相互作用の解明を今後の課題に充てたい。

## 研究成果の公表について

口頭発表（題名・発表者名・会議名・日時・場所等）

1. 劉佳琦（2017）「日本語教育現場における発音指導への提案一」口頭発表，『NHK 日本語発音アクセント新辞典』の改訂から考えて」第二届日本语言学研讨会  
2017年5月17日 中国上海 复旦大学
2. 劉佳琦（2017）“日语教育中语音分析软件的应用研究”基調講演，复旦大学建校  
112周年暨第51届科研报告系列一外文学院日文系校庆报告会 2017年5月24  
日 中国上海复旦大学
3. 劉佳琦（2017）「中国語母語話者における日本語のリズム習得と教育研究」口頭  
発表，第九届汉日对比语言学研讨会 2017年8月18日 中国北京北方工业大  
学
4. 劉佳琦（2017）“语言认知机制与外语语音习得”基調講演，《人工智能+教育》  
人工智能与语言教育专题沙龙—复旦创新走廊产学研联盟系列沙龙活动 2017年  
12月8日 中国上海复旦大学
5. 劉佳琦（2018）“基于声学分析技术的多模态语音教学研究”口頭発表，2018年  
日本語教育与日本学研究国际研讨会 2018年5月12日 中国上海同济大学
6. 劉佳琦（2018 予定）“多语背景下的 L3 词首塞音体系感知”口頭発表，第 11 回  
中国社会言語学国際シンポジウム 2018年7月13日 中国長春吉林大学
7. 劉佳琦（2018 予定）「中国共通語話者による第三言語の語頭破裂音の知覚習得  
について」口頭発表，日本音声学学会第 32 回全国大会 2018年9月15日沖繩  
国際大学
8. 劉佳琦（2018 予定）“L3 的词首塞音习得研究—L1 与 L2 音位系统的影响”口頭  
発表，第 8 回中国第二言語習得研究国際シンポジウム 2018年11月2日中国  
青島中国海洋大学
9. 劉佳琦（2018 予定）「多言語背景における第二外国語としての日本語破裂音の  
習得研究」口頭発表，第 12 回国際日本語教育及び日本研究シンポジウム 2018  
年12月8日 香港理工大学

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

1. 刘佳琦 (2017a) “日语语音教学的新趋势—基于《NHK 日本語アクセント新辞典》修订研究” 《日语教育与日本学》第 10 辑 华东理工大学出版社 ISBN 978-7-5628-5157-8 pp. 11—20
2. 劉佳琦 (2017b) 「中国の大規模オープンオンライン教育の現状と日本語教育—M00Cs edXwaseda JPC 開講に際して—」 『早稲田日本語教育学』23 号 東京：早稲田大学 ISSN1882-3394 pp. 31—38
3. 刘佳琦 (2018a) “日语语音教学的实践及展望—理论、方法与成果” 《高等日语教育》第 1 辑 北京：外语教学与研究出版社 ISBN 978-7-5135-9950-4 pp. 43—55
4. 刘佳琦 (2018b) “日语音段的可视化教学研究—基于中介语理论与实验语音学方法” 《日语学习与研究》2018 年第 4 期 ISSN1002-4395 (査読合格)
5. 刘佳琦, 曾婷, 鹿秀川 (2019) Challenges in Multi-language Pronunciation Education: A Cross-linguistic Study of Chinese Students' Perception of Voiced and Voiceless Stops, Circle of applied linguistics for communication (SSCI 刊物) (査読中)
6. 刘佳琦 (2019) “基于声学分析技术的多模态日语语音教学研究” 《复旦外国语言文学论丛》(CSSCI 刊物) (査読中)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

刘佳琦 (2019) 《基于认知科学的外语语音教学研究》新星出版社 (執筆中)